

【教育目標 夢中になる とともに創る】



きらきら



新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和5年4月13日発行

夢中になる とともに創る

園長 青木博子

沼垂幼稚園の園庭が、今年も美しい花々に埋め尽くされました。そして、春の訪れとともに、子どもたちのにぎやかな声と笑顔が、また私たちの園に帰ってきたのです。今年度は、年少組13名・年中組11名・年長組16名・全園児40名、職員14名でスタートしました。いよいよ沼垂幼稚園109年目の年の始まりです。

今年度より、当園の教育目標を新たに「夢中になる とともに創る」としました。幼児は、遊びの中で、いろいろな思いを巡らせ、自ら試したり、考えたり、確かめたりして、物の性質や仕組みに気付いたり、それを先生や友達に話しながら、言葉で伝える力を付けたりします。また、友達の気持ちに気づき、思いやるのです。

「夢中になる」。夢中になって遊ぶからこそ、ものや人との関わりが豊かになります。そのことが、小学校以降の学びを主体的で豊かなものにするのです。「ともに創る」。人は、人と関わり合いながら互いを尊重して生きていきます。夢中になって友達と創り上げていくことこそ、今の変化の激しい時代を生き抜く大切な力を育む根幹であると考えて、教育目標にその願いを込めました。

沼垂幼稚園では、子どもが安心して自ら遊びに向かい、友達とやり抜き、満足感をもって次の遊びへと向かう姿を大切にしてきました。これからは、さらに夢中になって何事にも取り組み、友だちとともに様々なものを創り続けていく子どもたちを育てていきます。

私たちは、子ども一人一人の成長を見つめ、嬉しいことも心配なことも保護者の皆様、地域の皆様と分かち合い、取り組んでいきます。そのことを通して、子どもたちの今と未来のしあわせを、全職員で創っていきたいと思います。

子どもたちのかけがえのない一年を大切にします。職員一同全力で、そして笑顔で取り組んでいきます。どうぞ今年度もよろしくお願ひいたします。

